

1 単元について

対 象 学 年	小学校 第3学年
学 習 指 導 要 領	第3学年及び第4学年 「E 表現運動」(表現)
単 元 名	「ポップコーン」(全4時間)
単 元 目 標	<p>(1) 技能(運動の技能) ポップコーンがいろいろな方向へ勢いよく次々に飛び散る様子を、体全体を使って表すことができる。</p> <p>(2) 態度(運動への関心・意欲・態度) 互いの動きや活動のよさを見つけて、認め合ったりして運動をすることができる。</p> <p>(3) 学び方(運動についての思考・判断) ポップコーンの特徴を捉えて、ふさわしい動きになるように、課題を選択したり、活動を工夫したりすることができる。</p>
配 慮 事 項	<p>基礎的・基本的な内容の確実な定着の工夫 単元指導計画の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の興味・関心を高めたり、動きのイメージを具体的にもたせたりするために、ポップコーンが弾けて飛び散るところを実際に見せる。 ・子どもがつかんだポップコーンの特徴を踊らせ、見つけた動きをまずは肯定する。その上で、作品として見た場合に、さらにより良くするところはないかを次の3点から教師も子どもも見ていくようにする。 <p style="text-align: center;"><作品をより良くするための視点> リズム 空間の使い方 体の使い方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いの動きのよさや変容を認め合えるようにするため、学習の途中経過や成果を全体、または、ペア(グループ)で見合う時間を毎時間確保する。(上記の ~ の視点で見合う) ・見通しをもって学習できるようにするため、発表会での観点を学習カードに明記する。 ・動きのイメージの弱い子に、具体的なイメージをもたせるため、ポップコーンの弾ける様子を撮影したビデオを準備し、必要に応じて観られるようにする。 <p>単位時間の工夫</p> <p><計画の場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童が見通しをもち、進んで活動することができるよう、1時間の学習の進め方を具体的に示す。 ・全体計画会では、課題が明確につかめるよう、示範や図、VTRを効果的に活用する。 ・グループ計画会では、リーダーの司会のもと、個人課題やきまりを互いに交流し、確認し合う。 <p><展開の場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中間研究会では、互いに見合う時間を取り、観てほしいところや前半練習で困ったことを伝え、そのことについてアドバイスをし合い、後半練習に生かせるようにする。または、単位時間の課題となる動きを意識して表現することができる子を全員で見て、どんなところがよいのかを見つけ合い、後半練習へ生かす。 ・鏡やビデオなどにより、客観的に自分たちの姿を把握できるような機会を設ける。 ・話し合いではなく、動き合い(意見が出たら、すぐ動いて確かめる)で作品を創っていくことの大切さを理解させる。 <p><評価の場面></p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループ反省会では、めあての振り返りをし、互いの動きや活動のよさについて認め合うことにより、次時への意欲や見通しがもてるようにする。 ・前時からの変容や、課題が達成できた具体的な姿を価値付けるようにする。
参 考 資 料	<p>資料1:学習カード...学習の見通しをもったり、個人の学習の足跡を残したりするために使用。</p> <p>資料2:仲間カード...めざす仲間の姿を達成するためのきまりについて振り返るために使用。</p>

2 単元の評価規準

	ア 運動への関心・意欲・態度	イ 運動についての思考・判断	ウ 運動の技能
内容のまじりこみの評価規準	表現運動に進んで楽しく取り組もうとする。また、互いのよさを認め合い、協力して練習したり、見せ合いをしたりしようとする。	表したい内容にふさわしい動きやリズムに乗って踊るための活動を工夫している。	表現やリズムダンスで、身近な生活の中から題材を選んでそのおもな特徴や感じをとらえて表現したり、軽快なリズムに乗って踊ったりして、みんなで踊りを楽しむことができる。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・友だちと一緒に踊る楽しさや作品を創りあげていく喜びを味わおうとする。 (楽しさ体験) ・仲間の踊りや取り組む姿のよさを認めたり、仲間からの助言や励ましを素直に受け止めたりしようとする。 (社会的態度) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察から具体的な動きのイメージをもつ。 (課題達成) ・よりポップコーンらしい動きにするために、どのように動くかよいか考え、課題を選択している。 (課題達成) ・仲間の動きを見て、よさを見つけたり、採点したりしている。 (評価) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーンが勢いよく飛び散る様子を、体を大きく使って表すことができる。 (技能向上)
単位時間における具体的な評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・班の仲間とよりよい作品づくりを目指そうという意欲をもつことができる。 (観察・学習カード) ・仲間と一緒に踊ることを楽しもうとする。 (観察) ・動きを工夫しようとするよさを認めようとする。 (発言・学習カード) ・発表会で、友だちと気持ちを合わせて、なりきって踊ろうとする。 (観察・学習カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・観察でポップコーンの特徴を見つけたり、動きをイメージしたりしている。 (観察・学習カード) ・勢いよく弾け、いろいろな方向に飛び散る様子を表すために、ふさわしい動きを選択している。 (観察・発言・学習カード) ・採点した結果から、仲間の動きのよさを見つけている。 (発言、学習カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の表したいポップコーンになって、即興で動くことができる。 (観察・学習カード) ・自分の表したいポップコーンの「はじめ」と「おわり」のポーズをはっきりさせて、ひと流れの動きにして表現することができる。 (観察・学習カード) ・ポップコーンが勢いよく弾ける様子を、リズム、空間や体の使い方を工夫して踊ることができる。 (観察・ビデオ・学習カード)

表現運動「ポップコーン」 単元指導計画

条件 過程	学 習 内 容		学 習 活 動	教 師 の 指 導	
	運動の側面	集団の側面	運動の側面・集団の側面	運動の側面への指導	集団の側面への指導
計 画	<p>ねらい</p> <p>ポップコーンがいろいろな方向へ勢いよく次々に飛び散る様子を、体全体を使って表すことができる。</p> <p><観察・動き見つけ></p> <p>圓いポップコーンがいろいろな方向に飛び散り、柔らかいコーンに変化するまでの様子を観察し、動きを見つけて踊ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パパーン、バンバンなど動きにつながるカタカナ言葉を見つける。 ・友だちのよい動きを見つけて、まねて動いてみる。 	<p>ねがい</p> <p>互いの動きや活を見つけて、認め合ったりして運動をすることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の話から単元全体の見通しをもつ。 ・グループ：生活班(3～4人) ・グループで学習計画を立てる。 役割分担：リーダー…踊りづくりのリード、班会の司会 仲間係…きまりの点検 めざす仲間像の決定、きまりの設定 ・ポップコーンの観察をする。 準備 ポップコーン(豆)・フライパン・油・コンロ ・一番表したいことを決めて、リズムを言いながら動き見つけをし、見合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードや学習の進め方の掲示物を使って、具体的に説明する。 ・素材そのもののリズムやスピード感をつかみ、なりきって踊ることが大切であることを話す。 ・観察の視点…全体のリズム、飛び散る量、高さ、方向 ・よい動きがどんな動きかを具体的に示す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を出し合って、教え合うとよい作品になり、よいグループになれることを話し、めざす仲間の姿をつかませる。 ・役割やきまりの決め方について説明する。 ・リーダーの指示に従うことの大切さ(仲間としてどう協力するとよいのか)について話す。
展 開	<p><おどりづくり></p> <p>「はじめ」「おわり」のポーズを工夫して、勢いよくコーンが弾ける「なか」を中心に作品を作ることができる。</p> <p><おどりの工夫・おどりこみ></p> <p>勢いよく弾ける様子がより分かるように、リズム・空間・体の使い方を工夫し、踊ることができる。</p> <p>気に入っている動きを繰り返す。</p> <p>おへそを上下左右に動かす。</p> <p>肘や膝の関節に力を入れてピン 手やおしりなどの体の一部が床タッチ</p>	<p>動きのよさを認め合いながら、仲間と繰り返し踊ることができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」と「おわり」のポーズやタイミングをだまかに決めたら、すぐ練習に入り、動きながら完成させていく。 ・「なか」は個人の表したいポップコーンになって動く。 ・中間研究会では、ペアまたは、全体で上手な動きを見て、後半練習に生かす。 ・工夫の内容を選択し、グループで教え合いながらより表したいことが分かる作品に仕上げていく。 ・グループ内やグループ間で見合い、よい所・直す所とよい所を交流する。 <p><見合いの方法></p> <ul style="list-style-type: none"> ・)見てほしいことをペアに伝えてから踊る。 ・)視点にそって動きを見て、どうであったか伝える。(よい点を伝えてから修正点を言う。) ・)交代して、)の順で進める。 ・リーダーの指示に従って繰り返し踊り、必要に応じてビデオ等で動きの確かめをしながら、よりよい作品に仕上げていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポップコーンになりきっている子や勢いよく飛び散る様子のよく表れている子を全体の場で認め広げていく。 ・中間研究会の視点を説明する。(「勢いよく弾ける様子がよく分かるか」) ・動きのイメージの乏しい子、大きく動けない子には個別に指導する。 素材(ビデオ)をもう一度見せ、リズムを捉えさせる。(リズム)上手な子の動きを真似させる。テンポを落として、確実に動かせる。 ・G内やペアGで見合う時の視点や方法について説明する。 ・前時までの動きから、工夫の内容(空間、体の使い方)を示し、その中から選択することを説明する。どこを直す所とよいか例示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーの指示でさっと動き始めることのできるグループをほめる。 ・グループ間で見合う時には、自分のペアを確認、視点にそって交流しているか確かめる。 相手がどこ(何)を観てほしいといったか確かめる。 教師や仲間の意見を参考にさせる。 ・動きが思うように高まらなくても、気持ちがポップコーンになっていること等を価値付ける。 ・よりよい動きにするために教え合いをして、何回も繰り返し練習をしているグループをほめる。
評 価	<p><発表会></p> <p>ポップコーンがいろいろな方向へ勢いよく次々に飛び散る様子を、体全体を使って表すことができる。</p> <p>学習の成果を振り返ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点数の集計、結果 ・各班のよさ、コーンチャンピオン、仲間のよさ見つけについて 	<p>みんなで踊ることの気持ちよさを味わうことができる。</p> <p>互いの動きや活動のよさを見つけて、認め合ったりして運動をすることができたか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表し、採点し合う。 集計をして、チャンピオングループを決める。 ・グループごとで活動全体を振り返る。 ア.課題達成度(作品の出来栄について) イ.めざす仲間の姿ときまりについて ウ.役割について 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表の仕方と見る視点を確認する。 ・各グループの作品について、よいところを一言ずつコメントする。 ・活動全体を振り返り、取り組みの姿のよさと作品の出来ばえを関連させて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・チャンピオンを目指して、心を一つにして踊るよう意欲付けをする。 ・仲間のためにたくさん意見を出したり、積極的に練習に取り組んだりした子を認める。 ・きまりの守りぶりを確かめ、よくできたグループを認める。

表現運動「ポップコーン」 単元評価計画

条件 過程		学 習 内 容		観 点 別 評 価 規 準 及 び 方 法		
		運動の側面	集団の側面	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
計 画	1	<p>ねらい</p> <p>ポップコーンがいろいろな方向へ勢いよく次々に飛び散る様子を、体全体を使って表すことができる。</p> <p><観察・動き見つけ></p> <p>固いポップコーンがいろいろな方向に飛び散り、柔らかいコーンに変化するまでの様子を観察し、動きを見つけて踊ることができる。</p> <p>・バパーン、バンパンなど動きにつながるカタカナ言葉を見つける。</p> <p>・友だちのよい動きを見つけて、まねて動いてみる。</p>	<p>ねがい</p> <p>互いの動きや活動のよさを見つけ、認め合って運動をすることができる。</p>	<p>・班の仲間とよりよい作品づくりを目指そうという意欲をもつことができる。</p> <p>(観察・学習カード)</p>	<p>・観察でポップコーンの特徴を見つけたり、動きをイメージしたりしている。</p> <p>(観察・学習カード)</p>	<p>・自分の表したいポップコーンになって、即興で動くことができる。</p> <p>(観察・学習カード)</p>
	2	<p><おどりづくり></p> <p>「はじめ」「おわり」のポーズを工夫して、勢いよくコーンが弾ける「なか」を中心に作品を作ることができる。</p>	<p>動きのよさを認め合いながら、仲間と繰り返し踊ることができる。</p>	<p>・仲間と一緒に踊ることを楽しもうとする。</p> <p>(観察)</p>	<p>・勢いよく弾け、いろいろな方向に飛び散る様子を表すために、ふさわしい動きを選択している。</p> <p>(観察・発言・学習カード)</p>	<p>・自分の表したいポップコーンの「はじめ」と「おわり」のポーズをはっきりさせて、ひと流れの動きにして表現することができる。</p> <p>(観察・学習カード)</p>
開	3	<p><おどりの工夫・おどりこみ></p> <p>勢いよく弾ける様子がより分かるように、リズム・空間・体の使い方を工夫し、踊ることができる。</p>		<p>・ペアの子がどんな工夫をして踊っているか見つけようとする。</p> <p>(発言・学習カード)</p>		
評 価	4	<p><発表会></p> <p>ポップコーンがいろいろな方向へ勢いよく次々に飛び散る様子を、体全体を使って表す。</p> <p>学習の成果を振り返ることができる。</p> <p>・点数の集計、結果</p> <p>・各班のよさ、コーンチャンピオン、仲間のよさ見つけについて</p>	<p>みんなで踊ることの気持ちよさを味わうことができる。</p> <p>互いの動きや活動のよさを見つけて、認め合ったりして運動をすることができたか。</p>	<p>・発表会で、友だちと気持ちを合わせて、なりきって踊ろうとする。</p> <p>(観察・学習カード)</p>	<p>・採点した結果から、仲間の動きのよさを見つけている。(発言・学習カード)</p>	<p>・勢いよく飛び散る様子を、リズム、空間や体の使い方を工夫して表すことができる。</p> <p>(観察・ビデオ・学習カード)</p>

4 単位時間の授業展開例

(1) 本時のめあて

技能の内容：ポップコーンが勢いよくいろいろな方向に飛び散る様子を表すために、いろいろな方向へジャンプをしたり、気に入った動きを繰り返したりし、大きな動作で表現することができる。

態度の内容：何度も繰り返し練習する中で、仲間が動きを工夫するよさを見つけ、認めることができる。

学び方の内容：勢いよく弾け、いろいろな方向に飛び散る様子を表すためのふさわしい動きを選択することができる。

(2) 本時の位置 3 / 4 時

(3) 展開案

条件 過程	学 習 内 容		学 習 活 動	教 師 の 指 導						
	運動の側面	集団の側面	運動の側面・集団の側面	運動の側面への指導	集団の側面への指導					
計 画	勢いよく飛び散るコーンの様子を、大きな動作で表現することができる。	お互いの動きのよいところを見つけ、何回も繰り返し練習することができる。	<p><準備、準備運動></p> <ul style="list-style-type: none"> グループごとに、前時までの復習の動きをする。 <p><全体会></p> <ul style="list-style-type: none"> 前時を想起し、本時の課題をつかむ。 <p><グループ計画会></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の表したいことがより分かるようにするには、どんな動きをしたらよいか確認し合う。 きまりを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> 準備運動で、前時までの動きを2～3回踊らせ、思い出させておく。 「勢いよく、いろいろな方向に飛び散る」様子を表すためのポイントを動きやビデオを使って具体的に示す。リズム(動きの連続) 空間(方向や高さ) 大きな動き <p>【思考・判断】</p> <p>自分の表したいコーンの様子がもっとよく分かるようにするには、どんな動きをしたらよいかを選択している。</p>	<ul style="list-style-type: none"> リーダーを中心に、すぐ準備運動に取り掛かっているかを確認する。 本時で目指す仲間の姿の「動きのよいところを見つける」「繰り返し練習」に関わって具体的に示す。(仲間の動きのよさの例) 何回も繰り返してジャンプしているので、ポップコーンがバンバンとはじけていることがよくわかったよ。 					
展 開	<p>「勢いよく、いろいろな方向に飛び散る」を表すために、ジャンプの仕方や転がり方を意識して練習することができる。</p> <p>「勢いよく」や「いろいろな方向へ」がよく表れているグループの動きを見て、自分の動きの修正点をつかむことができる。</p> <p>口リズムに合わせてジャンプや転がるなど、体を大きく動かして踊ることができる。</p>	<p>リーダーの指示で素早く動くことができる。</p> <p>上手なグループの動きを見て、よいところを発表することができる。</p> <p>発表会に向けて繰り返し練習ができる。</p>	<p><グループ練習></p> <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr> <td style="text-align: center;">3 G</td> <td style="text-align: center;">4 G</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">ス テ ィ ジ</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">2 G</td> <td style="text-align: center;">1 G</td> </tr> </table> <p>入り口</p> <ul style="list-style-type: none"> リーダーの合図で踊り始めたり、終わったりする。 全体で上手な動きを見る。 動きの上手なグループの踊りを見て、よいところを視点にそって発表する。 自分は、どこをどう修正すればよいのか考え、発表する。 中間会の後はすぐグループ練習に戻り、発表会に向けて動きを修正しながら、繰り返し練習をする。 必要に応じて、自分たちの動きを客観的に見ながら練習をする。 グループ内で観合う。 教師や他のグループに見てもらおう。 ビデオに撮ってみる。 	3 G	4 G	ス テ ィ ジ	2 G	1 G	<ul style="list-style-type: none"> 動きのイメージが弱い子には、ビデオをもう一度見せて「勢いよく」のイメージの捉え直しをさせる。 <p>【技能】</p> <p>勢いよく飛び散る様子を体を大きくつかって表すことができる。</p> <p>気に入っている動きを繰り返し動く。</p> <p>おへそを上下左右に動かす。(方向高さを変えて動くことができる)</p> <p>肘や膝の関節に力を入れてピンと伸ばしたり、手やお尻などの体の一部が床にさわくらい縮んだりして動く。</p> <ul style="list-style-type: none"> うまくできない子には、「パーン、コロコロ、パーン…」などの声を掛けながら動かせる。 動作の小さい子には、「ジャンプの回数が減ってもよいから、しゃがんでから手をピンと伸ばしてジャンプする方が勢いよく弾ける様子がよく分かるよ。」等の声を掛け、テンポを落として踊らせ動きにメリハリが出るようにする。 うまく動ける子には、「そる、指先まで力を入れて、転がってすぐジャンプ」などを助言する。 見つけた修正点が具体的な動きに結びつかない子には教師と一緒に動いたり、仲間の動きのまねをさせたりする。 自分のイメージ通りに動いているかどうか、グループ内見合い等で確かめさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> リーダーが声をかけて、素早く練習に取り掛かれるグループや繰り返し練習のできるグループを認める。 中間会で、上手な子の動きを見るとき、視点が分かったか確認する。また、視点にそってよさを見つけた子には、もっとよくするための修正点も言えることよいことを話す。 修正点の見つからない子には、グループの仲間や教師が助言する。 繰り返し練習で、ある程度自信を持って踊れるようになったら、グループ内やグループ間で見合うよう、リーダーへ指示をする。 動きの修正が終わっているグループには、「発表会に向けて、あと 1 回踊ろう」「心までポップコーンになって踊ろう」等、めあてを持たせて取り組ませる。
3 G	4 G	ス テ ィ ジ								
2 G	1 G									
評 価	自分や仲間の動きの高まりについて振り返る。	友だちの動きのよいところを見つけたり、繰り返し練習したりできたか振り返る。	<p><グループ反省会></p> <ul style="list-style-type: none"> リーダーを中心に練習の様子を振り返る。 きまりが守れたか確かめ合う。 <p><全体会></p> <ul style="list-style-type: none"> 個人やグループの高まりを交流し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> 課題を意識して取り組み、動きの高まりの合った個人やグループを価値付ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 見合いの時に、よさを具体的に話したり、繰り返し練習をがんばったりしていた個人やグループを価値付ける。 次時への意欲化を図る。 					